

第 1 回 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会 記録（概要）

- 1 期 日 令和 2 年 6 月 3 日（水）他
- 2 委 員 10 名
- 3 方 法 事務局が各委員に対し、下記「5（3）報告及び、（4）協議」の各事項を説明し、質問、意見等を取りまとめた。

4 内 容

- (1) 委嘱状の交付
- (2) 県教育委員会あいさつ
- (3) 報告
 - ① 東南置賜地区の県立高校再編整備計画について
 - ② 地域説明会及び意見聴取の概要について
 - ③ その他
- (4) 協議
 - ① 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会の検討組織（案）
 - ② 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会の検討内容（案）
 - ③ 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会の検討計画（案）
 - ④ その他

5 発言要旨

- (3) 報告
- ① 東南置賜地区の県立高校再編整備計画について
質問等なし。
 - ② 地域説明会及び意見聴取の概要について
質問等なし。
- (4) 協議
- ① 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会の検討組織（案）
意見等なし。案について了承。
 - ② 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会の検討内容（案）
意見等なし。案について了承。
 - ③ 米沢産業高校（仮称）教育基本計画策定委員会の検討計画（案）
意見等なし。案について了承。

④ その他 ※米沢産業高校（仮称）への期待など

（委員）

- 昼間定時制を活性化できないか。学び直しも必要だが、それだけでない積極的な魅力化が必要になる。
- 新型コロナウイルス感染症予防の対応でオンライン講義を行ったが、講義はオンラインで代替可能なことが多いことが分かった。対面が必須なのはインタラクティブなもの、課題解決型学習（PBL）や実験、研究くらいではないか。そういった点で、本物の体験に強みをもつ産業高校というコンセプトは時代に合っていると見える。

（委員）

- 商業と工業を統合するというコンセプトが非常に良い。子どものニーズに応じた学びが可能になるのではないか。また、定時制の昼間への移行は必須と考える。昼間に移行することでより社会とのつながりをもつ活動が増え、加えて、総合学科への移行によって、より個々の生徒の目的に応じた学びができるようになる。
- 米沢市は伝統的にもものづくりの街であるとともに、米織の商売を商業高校の卒業生が担うなど、ものづくりと商業が連携してきた歴史をもつ。また、両校ともに子どもの両親、祖父母が卒業生であることが非常に多い学校でもある。
- 米沢産業高校（仮称）は楽しみにしており、楽しみだと大きな声で言える学校にして欲しい。現在の中学校1年生が統合後の初の卒業生となるということを考えれば、統合はまだ先のこととは言えない。PRなどの広報も必要になる。

（委員）

- 昼間定時制への移行に賛成する。総合学科で多様な学びができるということだが、生徒数が少ないと配置される教員の数も少なくなり、多様な学びがどこまでできるか課題があると思う。

（委員）

- 世の中が変わってきている中、それぞれ単独で学ぶだけでなく、工業と商業の両方を学ぶことによって新たな力を生み出して欲しい。

（委員）

- 米沢工業高校定時制は、令和5年度入学生から工業科から総合学科に学科改編となり、令和8年度以降は総合学科のみとなるが、令和4年度入学生が、もし4年間で卒業できなかった場合、どのような対応となるのか心配している。

（委員）

- 策定委員会はコロナ禍にあるこのような状況であるので、今後の策定委員会について、オンラインでの実施も致し方ない。しかし、全員が参集しての策定委員会を一度は開催し、各委員の考えを感じたい。

総合選択制について

1 総合選択制とは

農業科や工業科などの複数の学科を併設する学校において、自分が所属する学科の学習を重点的に行いながら、一部の科目について、学科の枠を越えて選択して学習できる制度です。生徒一人一人の興味・関心や進路希望に対応し、異なる学科との連携により、地域産業や社会の未来を担う人材を育成することが期待されます。

【県立高校再編整備基本計画（H26 策定，県教委）より】

他に総合選択制については

- ・ 東南置賜地区の県立高校再編整備計画（R 2 策定，県教委）
- ・ 第 6 次山形県教育振興計画（後期計画）（R 2 策定，県教委）
- ・ 時代の進展や産業界の動向等に対応した本県産業教育の在り方について答申
(H21 策定，県産教審)

に述べられている。

2 総合選択制の例（村山産業高校（仮称）教育基本計画より）

- 「総合選択科目」として、生徒の多様な進路希望や興味・関心に対応する科目を配置します。2年生で1科目、3年生で2科目を選択して学習します。

総合選択科目

- ・ 所属学科の専門の知識・技術を深化できる科目
 - ・ 他学科の科目の学習により所属学科の学習内容を拡張できる科目
 - ・ 大学等への進学希望の実現に必要な科目
- 等

- 科目の系統や活用を考えながら、他の学科の科目も選択できます。

3 東南置賜地区の再編整備に係る意見聴取より

東南置賜地区の県立高校の再編整備に係る地域関係者からの意見聴取より抜粋（H29.5～8月）

- 米沢市は工業・商業のまちであり、10年後、20年後に産業界の中心となって活躍し、付加価値のあるものづくりができる想像力豊かな人材の育成が求められる。
- 米沢工業高校と米沢商業高校の職業科同士の高校を統合して、マーケティング・作る・販売など6次産業までトータルで考えるなど、職業教育を更に充実させ、世界の産業を担う人材を育成すべきではないか。

東南置賜地区の県立高校再編整備計画（骨子案）の意見聴取より抜粋（R1.8～11月）

- 現在は、ものをつくるだけでなく、付加価値をつけて販売することも求められているため、所属する学科以外の内容も学習できる総合選択制のシステムは良い考えだ。
- 複数学科を設置する産業高校において、所属学科の学習を重点的に行いながらも、他学科の学習も可能となる総合選択制を導入すれば、視野が広がるだけでなく、将来の職業選択の幅が広がる。

4 総合選択制により選択できる他学科の科目の例

- ◇ 工業科が選択できる商業科目、商業科が選択できる工業科目のみ表記した
- ◇ 実際の選択群には、国数英や農業、家庭、情報等の専門科目も配置している例が多い
- ◇ 先頭に○がついている科目は、学校設定科目（学習指導要領に定められている教科の中で、高校が独自に設置している科目）である。

学校名	大学科	小学科	学年	他学科の科目	単位	
村山産業高校	工	機械科 電子情報	2年A	ビジネス基礎	2	
			3年B	簿記	2	
			3年C	マーケティング	2	
	商	流通ビジネス	2年A	工業数理基礎、材料技術基礎	2	
			3年B	電子技術、○設計・製図	2	
			3年C	生産システム技術、原動機	2	
武生商工高校 (福井県)	工	機械創造 電気情報 都市・建築	3年	簿記	3	
	商	商業マネジメント 情報ビジネス	3年	○CADデザイン	3	
防府商工高校 (山口県)	工	機械	2年	マーケティング	2	
	商	商業	2年	工業管理技術、工業化学	2	
柳井商工高校 (山口県)	工	機械 建築・電子	2年	経済活動と法、簿記	2	
			3年	ビジネス実務、簿記	2	
	商	ビジネス情報	2年	設備計画、情報技術基礎	2	
			3年	機械製図、電気基礎	2	
つるぎ高校 (徳島県)	工	電気 機械 建設科土木	2年	ビジネス実務、ビジネス経済 応用、○商業技術	2	
			3年	○電子商取引実践、プログラ ミング、ビジネス情報管理	2	
	商	商業 地域ビジネス	2年	電子技術、原動機、土木施工、 建築計画	2	
			3年	工業数理基礎、ソフトウェア開発	2	
	飯田 OIDE 長姫高校 (長野県)	工	機械工 電子機械工 電気電子工	3年	○経営実践 ○商品開発実践	2
			社会基盤工 建築	3年	○建設簿記、○建設簿記実践 ○商品開発実践	2
※ 2年では、○商業基礎（学校設定教科・科目）を全員履修						
商		商業	3年	○ITデザイン	2	
※ 2年では、○ITシステム（学校設定教科・科目）を全員履修						

三修制について

1 三修制とは

定時制・通信制課程において、3年間で卒業を可能とする制度。平成元年4月に、従来「4年以上」であった修業年限が「3年以上」に弾力化され、履修上無理がなければ、全日制課程と同様、3年での卒業が認められることになった。

2 定時制における教育活動の時間帯イメージ

時間帯	午前				午後				夜間				授業開始時刻
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
全日制	6時間授業												
定時制 (昼間)	例① 4時間授業												霞城 (I部) 8:25 酒西 (定) 9:15
		例② 4時間授業											庄総 (定) 10:20
				例③ 4時間授業									霞城 (II部) 13:05
定時制 (夜間)									4時間授業				米工 (定) 17:10 など 霞城 (III部) 17:15

3 三修制 (3年間で卒業単位 74 単位を修得して卒業する制度) の単位取得イメージ

年次	従来の定時制の時間帯 (1日4時間) のみで卒業する場合の例	3年間で卒業する場合の例 (比較)
1年	19 単位	$1日4時間授業 (4単位分) \times 週5日 = 20単位$ HR (1単位分) は単位に入らないため、 1年間で、 $20 - 1 = 19$ 単位の修得が可能
2年	19 単位	
3年	19 単位	
4年	17 単位	3年間で卒業するためには、従来の夜間定時制と比較して、 <u>17 単位分</u> を1年生から3年生までの間に多く修得する必要がある
計	74 単位	

○ 17 単位分多く修得する方法の例

① 4時間の授業の他に、2時間追加して授業を受けることによる単位修得

例えば、1日2時間 (2単位) \times 週5日 = 10単位を通常より多く修得できる。

② 学校外の学修による単位修得

定通併修 (他の定時制・通信制高校での単位修得)、技能審査 (英検、漢検など)
 高等学校卒業程度認定試験、就労体験など

4 庄内総合高校教育基本計画（H31. 3月策定）より

庄内総合高校（令和4年4月開校予定）への三修制の導入について

卒業にかかる年数（修業年限）は4年を標準とします。また、定通併修等の異なる課程間の履修、校外の学修等による単位認定や自由選択群を設定するなど、3年でも卒業できる仕組みをつくります。一人一人のライフスタイルやニーズに応じた学習ができるようにします。

義務教育段階での学習内容の確実な定着を図る「学び直し」を充実させ、高校の学習のベースとなる基礎学力を養います。共通科目の基礎・基本を大切にするとともに、工業・商業・家庭などの選択科目を開設し、職業選択や実生活に役立つ学びを通して社会に積極的に寄与する態度を養います。

全定併修科目、地域人材の活用や地域をフィールドとした学びも取り入れます。

授業時間帯

時間帯	午前				午後			
時限	1	2	3	4	5	6	7	8
授業展開		学習	授業				選択	

米沢産業高校（仮称）教育基本計画の構成（案）

1 基本理念

基本理念

(1) 全日制

- ① 育てる生徒像 ② 目指す学校像 ③ 教育目標

(2) 定時制

- ① 育てる生徒像 ② 目指す学校像 ③ 教育目標

2 開校予定年度と入学定員等

(1) 開校予定年度

(2) 入学定員

(3) 設置場所

(4) 通学区域

3 設置課程・学科の目標及び教育課程

(1) 全日制

① 設置学科と目標

ア 工業科 …… 学科の目標と主な学習内容

イ 商業科 …… 学科の目標と主な学習内容

② 教育課程

ア 教育課程編成の基本方針

イ 教育課程の特徴

(2) 定時制

① 総合学科の目標

② 教育課程

ア 教育課程編成の基本方針

イ 教育課程の特徴

4 移行期の対応

(1) 開校時の対応

(2) 教育課程等の対応

5 施設整備計画

(1) 基本的な考え方

(2) 施設整備の概要

(3) 改修計画

6 開校に向けた準備組織及びスケジュール

(1) 開校までの準備組織

(2) 主な検討内容とスケジュール

基本理念の検討方針（案）

1 検討方針（案）

- (1) 「基本理念」は、米沢産業高校（仮称）の教育において、最も根本的な考えを示したものであり、母体となる米沢工業高校及び米沢商業高校がこれまで培ってきた教育の理念や考え方等をベースとした上で、これからの時代の要請、及び地域の期待等を踏まえたものとする。
- (2) 「基本理念」については全日制、定時制ともに同一のものとする。ただし、「育てる生徒像」「目指す学校像」「教育目標」は、生徒の実態や教育内容の違いを鑑み別にする。
- (3) 「育てる生徒像」は育てる力、「目指す学校像」は展開する教育活動、「教育目標」は学校が担う役割を表す。
- (4) 作成にあたっては、一般的な言葉遣いや表現で端的に表すことを旨とする。

2 参考資料

- ・米沢工業高校及び米沢商業高校の教育目標等
- ・高等学校学習指導要領（H30）文部科学省
- ・第3期教育振興基本計画について（答申）（H30）中教審
- ・Society5.0に向けた人材育成～社会が変わる、学びが変わる～（H30）Society5.0に向けた人材育成に係る大臣懇談会
- ・第6次山形県教育振興計画（後期計画）（R2）県教委
- ・時代の進展や産業界の動向等に対応した本県産業教育の在り方について答申（H21）県産教審
- ・県立高校再編整備基本計画（H26）県教委
- ・山形県教育、学術及び文化の振興に関する施策の大綱（R2）山形県
- ・東南置賜地区の県立高校再編整備計画（R2）県教委
- ・東南置賜地区にとって望ましい高校再編整備について（H30）東南置賜地区の県立高校の再編整備に係る検討委員会
- ・村山産業高校教育基本計画（H23）県教委
- ・庄内総合高校教育基本計画（H31）県教委
- ・地域説明会・意見聴取における米沢産業高校（仮称）への期待

基本理念の骨格（案）

「豊かな人間性」

「実践的・協働的な学び」

「持続可能な社会の創造」

《「豊かな人間性」について》

生き方・在り方や、新高校での学びを支える基盤となるもの。母体となる両校で大切にしてきた校訓等を土台とし、将来のものづくりやビジネスを支える人材の育成に必要なもの。

《「豊かな人間性」に必要な資質・能力》

- ・ 至誠（真心）・進取（勇氣）（米沢商業高校校訓）、敬愛の實（米沢工業高校朝禮訓）
- ・ 豊かな情操や規範意識、自己有用感、他者への思いやり、困難を乗り越え、物事を成し遂げる力（教育振興基本計画）
- ・ 多様な価値観、それぞれの個性や違いを理解し、互いの生き方や人格を尊重する力（6教振）
- ・ 高い志と挑戦する心（産教審）
- ・ 高い倫理観と社会に貢献する意欲（学習指導要領）

《「実践的・協働的な学び」について》

新高校において、新たな時代に必要となる資質・能力を育成する上での学びの在り方。地域と連携し、生徒同士が協力して同じ課題に取り組むなど、実践的で協働的な学びを通じて、学ぶ楽しさや知る喜びを実感し、主体的に学び続けることによって、次世代の産業を支える人材を育成すること。

《「実践的・協働的な学び」によって育まれる資質・能力》

- ・ 想定外の事態に対処すること、自らの行動を考え責任を持って対応すること（Society5.0）
- ・ 多様な他者と協働しながら新たな価値を生み出し、学びを人生や社会に生かす（6教振）
- ・ 苦心してモノを作り上げる力、実践から学び自信をつけていく力（Society5.0）
- ・ 他者と協働して思考・判断・表現を深める（Society5.0）
- ・ 常にスキルをアップデートし、また新たな分野のスキルを身に付けられるよう自ら学び続ける力（Society5.0）

《「持続可能な社会の創造」について》

新高校での学びを生かす方向。環境、貧困、人権、平和、開発など現代社会の課題を自らの問題として捉え、課題解決につながる新たな価値や行動を生み出し、持続可能な社会づくりの担い手を育成すること。

《「持続可能な社会の創造」に必要な資質・能力》

- ・ 地域の窓から世界を見るなど広い視野、グローバルな視点、より高い価値の創造に果敢に挑戦（6教振）
- ・ 変化や困難に直面しても柔軟かつ的確に対応できる（6教振）
- ・ 予測不能な状況の中で問題の核心を把握（教育振興基本計画）
- ・ 主体的に判断し、多様な人々と協働しながら新たな価値を創造（教育振興基本計画）
- ・ 持続可能な社会を志向する倫理観、価値観（教育振興基本計画）

米沢産業高校(仮称) 育てる生徒像(案)

◇ 全日制

① 豊かな人間性を磨くとともに、高い志を持ち、意欲的に挑戦することができる生徒

- (ア) 感性が豊かで物事に誠実に向き合い、高い倫理観と社会に貢献する意欲を持つ生徒
- (イ) 自らのよさや可能性を認識し、自己と他者、多様性を尊重できる生徒
- (ウ) 高い志を立て、目標の達成のために挑戦し続ける生徒

② 実践的・協働的な学びによって専門性を高め、次世代の産業を支える人材となる生徒

- (ア) 基盤となる知識と技術を身に付け、実践的な学びを通して専門性を高めることができる生徒
- (イ) 地域や社会との連携を通して、主体的に課題を発見し、その解決に向けて協働的に取り組むことができる生徒
- (ウ) 生き方や働き方について考えを深めながら学び続け、学びを人生や社会に生かすことができる生徒

③ 広い視野を持ち、持続可能な地域や社会の発展のために、新たな価値の創造ができる生徒

- (ア) 地域理解を深めつつ、世界へ目を向けるなど広い視野で物事を考え、地域や社会で行動することができる生徒
- (イ) 変化する地域や社会を洞察し、未来を切り拓くことができる生徒
- (ウ) 持続可能な地域や社会の発展のために、主体的な学びや多様な人々との協働を通じ、新たな価値の創造ができる生徒

◇ 定時制

① 豊かな人間性を磨き、自己と他者、多様な価値観を尊重し、可能性に挑戦する生徒

(ア) 自らのよさを認識し、他者を思いやった行動がとれ、自己有用感を持つ生徒

(イ) 多様な価値観を理解して尊重できる、豊かな感性を備える生徒

(ウ) 地域や社会に貢献する意欲を持ち、自己の可能性や夢の実現に挑戦し続ける生徒

② 実践的・協働的な学びを通じて個性を伸長し、次世代の産業を支える人材となる生徒

(ア) 基礎・基本を大切にし、幅広い教養、情報活用能力を身に付ける生徒

(イ) 地域や社会の課題を主体的に発見し、他者との対話や協働により考えを広げ、解決することができる生徒

(ウ) 地域とつながり、参画する実践的な学びを通じて個性を伸長させ、職業や適性について考えを深めながら学び続け、社会的・職業的自立を果たすことができる生徒

③ 広い視野を持ち、持続可能な地域や社会の発展のために、新たな価値の創造ができる生徒

(ア) 地域理解を深めつつ、世界へ目を向けるなど広い視野で物事を考え、地域や社会で行動することができる生徒

(イ) 変化する地域や社会に柔軟に対応し、未来を切り拓くことができる生徒

(ウ) 持続可能な地域や社会の発展のために、主体的な学びや多様な人々との協働を通じ、新たな価値の創造ができる生徒

米沢産業高校(仮称) 定時制 総合学科の目標と教育課程編成の基本方針(案)

1 目標

- 総合学科の特色を生かして幅広い知識や技能及び技術を身に付け、生徒一人ひとりの個性や可能性を最大限に伸長させるとともに、実社会で自立し、地域や社会の担い手となる、資質・能力を養います。
- 基礎・基本を大切にした「学び直し」の充実とともに、発展的な科目も開設するなど、個に応じた指導を行います。また、他者との対話や協働、ICTの最大限の活用などを通して、学びの質を高めます。
- 地域や社会と連携し、実践的・協働的な学びを通して新たな価値の創造に挑戦し、持続可能な地域や社会の発展に貢献できる人材を育成します。

2 教育課程編成の基本方針

- 卒業にかかる年数（修業年限）は4年を標準とします。また、1日の授業時間は4時間を基本としますが、それ以外に自由選択群の科目の設定や、校外における学修等などによる単位認定により、3年でも卒業できる仕組みをつくります。一人ひとりのライフスタイルやニーズに応じた学習ができるようにします。
- 義務教育段階での学習内容の確実な定着を図る「学び直し」を充実させ、高校の学習のベースとなる基礎学力を養います。共通教科・科目の基礎・基本を大切にするとともに、発展的な内容を扱う科目や、工業・商業などの専門教科・科目を選択科目に開設し、多様な進路選択を可能にします。
- 地域をフィールドとした学びも取り入れ、伝統や文化の良さを生かした、地域資源や人材を活用する地域と協働した教育活動を展開し、地域や社会に積極的に寄与する態度を養います。